

2011年の道南海域のホッケ漁況

2012年3月1日

試験研究意見交換会

・漁獲量

道南海域におけるホッケの漁獲量は、1980年代後半には2万トン台まで増加したが、1990～2003年は1.4万トン前後で推移した（図1）。2004年以降は漁獲量が急減し、1万トンを下回っている。2008年、2009年はやや増加したが、2010年は減少し5000トン前後と思われる。

海域別にみると、道南日本海では1984～1989年は1.4万トン前後の高い漁獲水準で推移し、1990年には5千トン台まで急落した（図1）。1991～2003年はおよそ6千～1.2万トンの間を2～3年おきに増減を繰り返しながら推移したが、2004年以降は4千トン前後で推移していたが、2010年は2千程度に減少した。道南太平洋では1985年に1千トン台まで減少した後、増加傾向に転じて1990年には8千トン台となった。その後は道南日本海と同様に2002年まで増減を繰り返し、2003～2007年は減少傾向が続いたが、2008～2009年はやや増加し3千トン台となった。2010年は減少して2千6百トンを示した。

海域・漁業種類別の漁獲量を表1に示した。一部未集計の地域もあるが2011年の漁獲量を前年

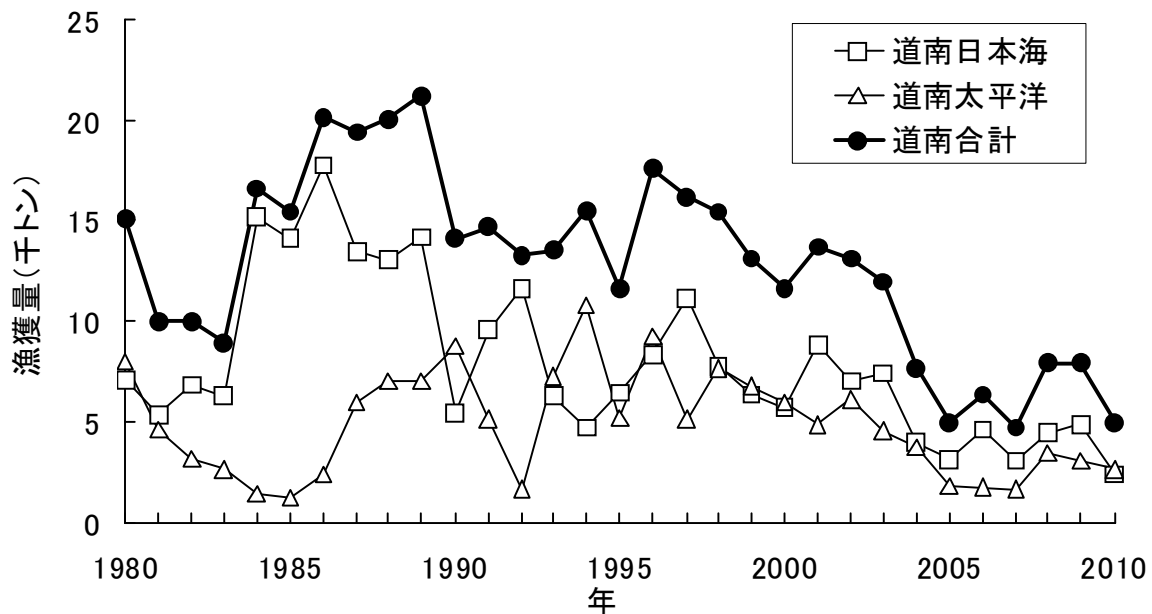


図1 漁獲量の推移

表1 漁業種類別ホッケ漁獲量

道南	漁業	2011年漁獲量			2010年漁獲量			対前年比(%)		
		春季索餌期	秋季産卵期	年計	春季索餌期	秋季産卵期	年計	春季	秋季	年計
		(漁獲量:トン)								
道南	定置網類	634		634	754	1,110	1,863	84	0	34
	まき網			0			0	—	—	—
日本海	刺網	266		266	178	193	371	150	0	72
	その他	72		72	77	40	117	93	0	61
	小計	972	0	972	1,008	1,343	2,352	96	0	41
道南	定置網類	78		78	336	296	632	23	0	12
	まき網	663		663	915	0	915	72	—	72
太平洋	刺網	300		300	627	388	1,016	48	0	29
	その他	29		29	57	14	71	51	0	41
	小計	1,070	0	1,070	1,935	699	2,634	55	0	41
	合計	2,042	0	2,042	2,943	2,042	4,985	69	0	41

注) 春季索餌期; 1～6月、秋季産卵期; 7～12月。なお、2011年漁獲量は集計中。

と比較すると、春季は日本海、太平洋とも減少している。日本海の刺し網では増加したが、他の漁業では減少した。太平洋ではすべての漁業で大きく減少した。

・体長組成

2007年～2011年に奥尻海域で漁獲されたホッケの体長組成を示した(図2)。2011年春季は290～300mmにモードがみられた。それまでの年に比べて200～280mmの個体が少なかった。

比較的高齢の個体が漁獲されると考えられる刺し網での漁獲は増加しているが、若齢の個体が多く漁獲される定置網で漁獲量が減少し、体長組成も250mm以下の小型個体の漁獲が減少していることから、新規に加入してくる年級(2010年級)の豊度が低いと考えられる。また、2歳魚に相当すると考えられる250～280mmの個体の漁獲も少ないことから2009年級の豊度も高くないと考えられる。

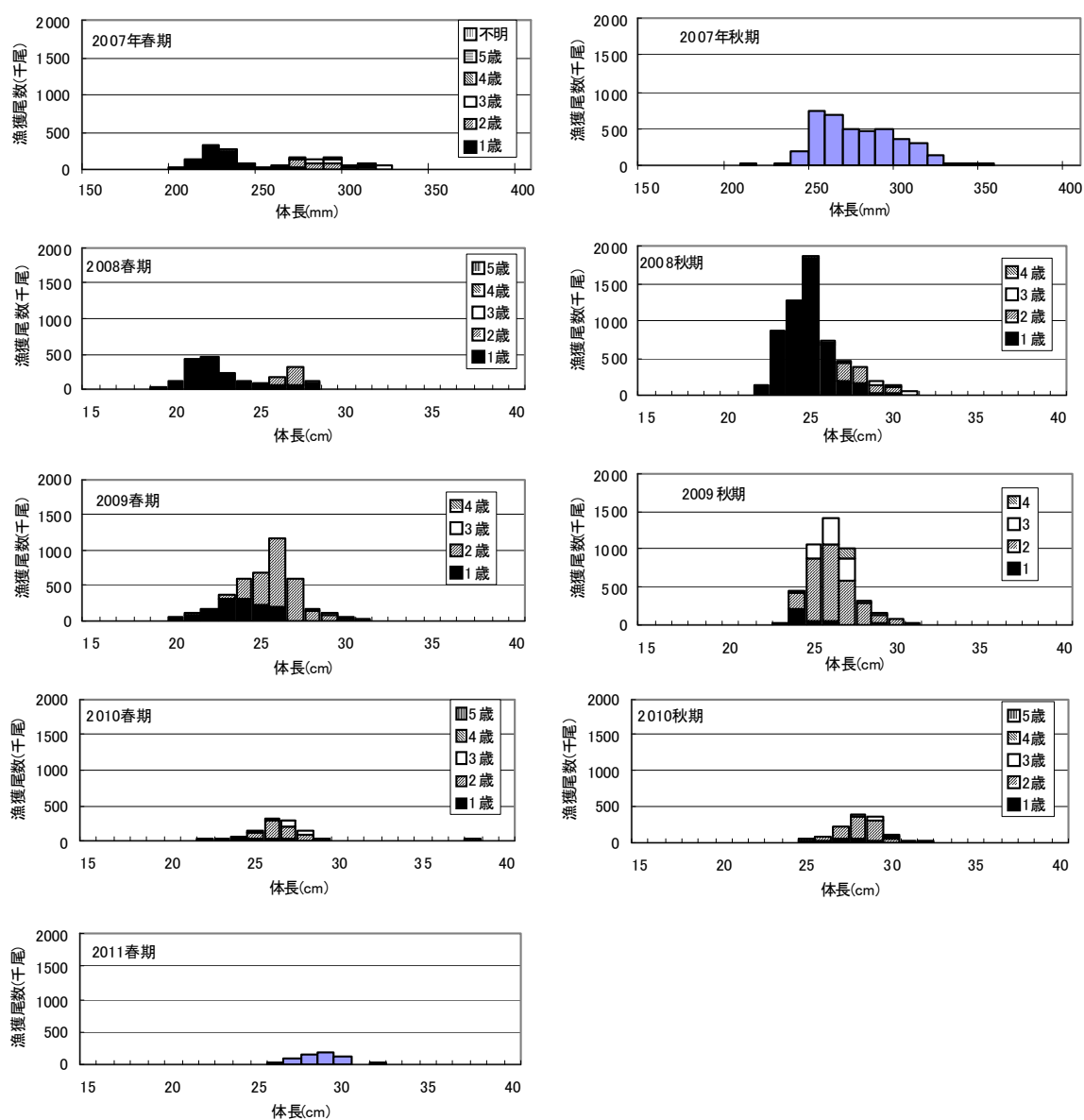


図2 奥尻の底建網における漁獲物の体長組成(2007年～2011年)